

吸放湿性に優れた多機能繊維

AQUAMATE®

アクアメイト®

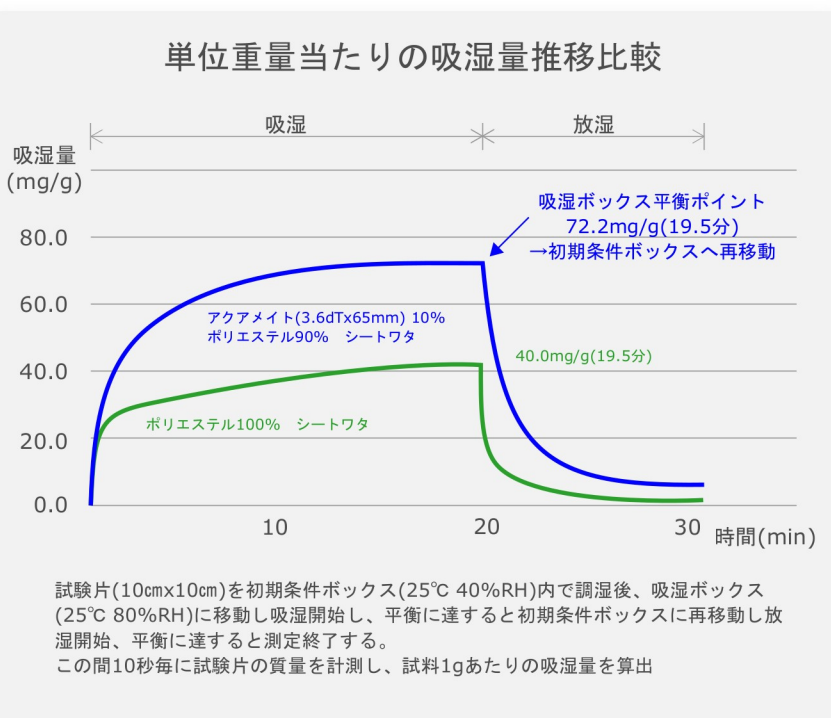
推奨用途

インテリア
介護
ペット
その他

壁材、カーテン、カーペット、除湿マット等
寝具、サポーター、衣類
マット、ウェア
スリッパ、靴の中敷き、包帯、マスク、生活雑貨

吸放湿性

繊維の改質により多くの親水基を持たせ吸湿能力を大幅に向上させています。
さらに周りの環境が乾燥している場合、繊維が持つ水分を外にむかって放出しやすい性質があり環境に対応して吸湿・放湿を繰り返します。



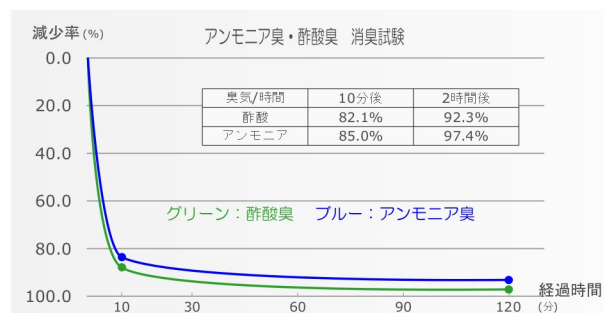
注：
・アクアメイト®の家庭用品品質表示法における表示名は「合成繊維(アクリレート)」になります。
・JIS L 0105:2020において公定水分率=30%と定義されています。(2020年2月改正)
・本パンフレットに記載のデータは原綿100%あるいは特定の混綿素材における測定値であり保証値ではありません。
また混率・仕様によりその性能は異なるものとなりますのでその仕様(商品)による性能確認をお願いします。

消臭性

酢酸・アンモニア

酢酸やアンモニアなどに対する消臭効果を備えています。しかもスピーディーに効果を発揮します。

繊維評価技術協会SEKマーク繊維製品認証基準準用試験：
検知管法
同基準による試験開始2時間後のデータ取得に加え
10分経過後データ取得
試験試料：アクアメイト® 100%原綿
評価基準：減少率=酢酸≧70%、アンモニア≧80%



ホルムアルデヒド

消臭性試験：繊維評価技術協議会 SEKマーク繊維製品認証基準試験：検知管法に準じた試験方法において2時間後消臭率99%の結果を得ています。

臭気ガス初発濃度：15ppm 試験資料：2.4g
試験試料：アクアメイト® 100%原綿

抗菌性

抗菌性試験※1において黄色ブドウ球菌、モラクセラ菌に対する抗菌効果基準を満たしています。

※1抗菌性試験

試験株菌	抗菌活性値
黄色ブドウ球菌	4.3
モラクセラ菌	3.2

JIS L 1902:2015 菌液吸収法
抗菌活性値：細菌数を減少、又は細菌を死滅させることによって細菌増殖を阻止及び抑制する剤/加工の活性を示す値。
既定の試料を使用しそれぞれの菌株を既定の方法で培養し、そのブランク試料(標準綿布)の増殖値と試験試料(アクアメイト100%生地)の増殖値との差(A)を対数値で表し評価します。
抗菌効果基準：A ≧ 2.0 (100倍以上) 効果あり

抗かび性

・抗かび性試験※2において白癬菌発育抑制に効果が認められました。
・かび抵抗性試験※3において規定菌系の発育は認められませんでした。

※2抗かび性試験

試験株菌	抗かび活性値
白癬菌	2.0

JIS L 1921:2015 吸収法
抗かび活性値：かびの発育を阻害又は抑制する性能をATP(アデノシン三リン酸)量を用いて測定する。ブランク試料(標準綿布)の発育値と試験試料(アクアメイト100%生地)の発育値との差を対数値で表し評価する。
抗かび活性値(A)効果基準：
A < 1.0 (10倍未満) 効果が認められない
1.0 ≦ A < 2.0 (10倍以上100倍未満) 弱い効果がある
2.0 ≦ A < 3.0 (100倍以上1000倍未満) 効果がある
3.0 ≦ A (1000倍以上) 強い効果がある

※3かび抵抗性試験

試験株菌	かび抵抗性表示
4種混合※4	○ 菌系の発育が認められない

JIS Z 2911:2018 繊維製品の試験・湿式法
アクアメイト100%生地に規定の処理を施し、既定のカビ※4を接種し、既定の条件に保って培養した後、その試料の表面に生じた菌系の発育状態を肉眼で調べる。
[試験結果の表示方法]
○ 菌系の発育が認められない
1 認められる菌系の発育部分の面積は全面積の1/3を超えない。
2 認められる菌系の発育部分の面積は全面積の1/3を超える
※4黒麹カビ、青カビ、ケトミウム、ミロテシウム

難燃性

限界酸素指数(LOI値) が35~36(測定方法：JIS K 7201)と高い難燃性を有しています。この特性を活かしてさまざまな用途への展開が可能です。

難燃性とは、加熱により燃焼する材料が熱源を取り去ったときその燃焼が持続されず、自然と消滅する性質(自己消滅性)と定義されています。繊維の燃焼性を評価する指標として燃焼を継続するのに必要な最低酸素濃度である限界酸素指数(LOI値)がありその値が高いほど燃えにくいこと(=難燃性)を示し、一般に同値が26以上であれば難燃性があるとされます。

試験試料：アクアメイト® 100%原綿

制電性

摩擦耐電圧測定※5において、下の表の結果を得ています。静電気の発生を抑えることでスカートのまとわりつきやホコリ等の吸着を抑えることに寄与します。

JIS L 1094 B法：2014

繊維及び編物を摩擦したときの静電気電位の評価として、既定の摩擦耐電圧測定機の回転ドラムを回転させ試験片を摩擦し、摩擦開始から 60 秒後の帯電圧 (ボルト) を測定します。
◇人が軽い痛みをともなう静電気の帯電量は、およそ3 キロボルト以上であって、1 キロボルト以下の静電気であれば、人は全く感じないとされています。

(「静電気安全指針2007：労働安全衛生総合研究所」引用)
試験試料：アクアメイト® 100%使用生地

※5摩擦耐電圧測定(ボルト)

摩擦方向	測定回数	一回目	二回目	三回目	四回目	五回目	平均値
タテ	1	1	1	3	1	1	1
ヨコ	1	2	2	1	1	1	1

上記数値はほとんど帯電していないレベルであり、スカートのまとわりつき、ホコリの吸着に関して「問題なし」と評価できます。

安全性

ヒトパッチテスト(生活科学研究所)において「安全品」と判定されています。

試験方法

被験者20名に対して、被験物質(アクアメイト®原綿)約5 mgを両面テープで、対照物質(リント布:直径8mmに裁断)は白色ワセリンでフィンチャンパー AQUA(株式会社スマートフラクティスジャパン、Lot.1619GEN、チャンパー直径8 mm)に貼付し、上腕に接触させる。24時間後に除去し、除去1時間後及び24時間後に被験物質接触部位及び対照物質接触部位の皮膚症状を肉眼的に判定するとともに写真撮影を行う。

試験試料：アクアメイト®原綿100%